

事務事業名	芦安地区結婚関連支援事業		所属部局	市民部		単位番号	4137			
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	芦安窓口サービスセンター		課長名	深澤 知恵美			
			所属担当	窓口サービス担当		担当者名	五味 正寿			
基本政策	基本計画	III うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	15	市街地・住環境の整備	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	25	住環境の整備								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度) 年度)			法令根拠	南アルプス市過疎対策条例・施行規則					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 芦安地区の人口の減少を防止するとともに、住民の増加と定住化を図るため芦安地区に住所を有する者が婚姻し、定住した場合に結婚祝金を支給する。 尚、平成24年度まで支給の、仲人慰労金(30,000円)は暫定条例の廃止及び南アルプス市過疎対策条例の制定により、廃止となった。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)						
	結婚祝金 50,000円			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				その他報償金	50					計

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	市営住宅入居者へPR等を行い、定住化を推進した。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
25年度活動実績	市営住宅入居者へPR等を行い、定住化を推進した。		名称	単位
26年度活動予定	広報誌等を活用し、若者世代の定住化推進を図る。		ア 申請件数	件
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	条例・規則を満たした、芦安地域に定住する夫婦	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
			名称	単位
			ア 結婚して芦安地区に定住した者	件
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	結婚して芦安地区に定住したいと思う夫婦	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
			名称	単位
			ア 芦安地区に定住したいと思う夫婦	件
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	芦安地区の人口の増加に繋がる。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
			名称	単位
			ア 芦安地区の人口	人

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	50	0	50	50	50	50	50	
		事業費計(A)	千円	50	0	50	50	50	50	50	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1	1	1	1	
		人件費計(B)	千円	5	5	5	5	5	5	5	0
		(A)+(B)	千円	55	5	55	55	55	55	55	0
	活動指標	件		1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0		
		千円		50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0		
	対象指標	件		1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0		
	成果指標	件		1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0		
	上位成果指標	人		382.0	378.0	365.0	385.0	385.0	385.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	①昭和61年4月より芦安村過疎対策条例を制定し本事業を開始する。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	②芦安地区の人口の減少防止及び地区住民の増加と安定化を目的にしている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	過疎の進行を防止するため昭和61年に芦安村過疎対策条例を制定し、本事業が開始された。平成17年の人口が495人であったが平成24年は378人に減少している。 地域振興策は、第一に人口の増加が求められている。空き家対策及び市営住宅への若者家族の優先的入居が、緊急の課題であるとの意見が地域から出ている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	芦安の将来を考える会を中心に、危機感を持ち地区住民も行政任せにしない体制を作りつつある。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	市営住宅担当とも連携を図り、住民の増加と定住化を図る中で、結婚関連支援事業のPRを行った。

事務事業名	芦安地区結婚関連支援事業	所属部	市民部	所属課	芦安窓口サービスセンター
-------	--------------	-----	-----	-----	--------------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 経済的負担の軽減を図り、芦安地区に住みやすいと感じる人が増え、人口の増加に繋がるため、上位目的に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 芦安地区の地域振興を図る上で、行政として重要である。そのために市が関与するのは妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 事業の維持・継続を行わないと、更なる過疎化が進んでしまう。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 社会・経済情勢の変化を考慮した中で、事業内容の見直し検討を図ることで、成果の向上が見込める。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 過疎化が進行している現状を鑑み、本事業の休止・廃止をした場合、過疎化は一層進行する。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 人口減少を防止するとともに、過疎地域住民の増加と、定住化を図ることを目的として条例制定されており、地域住民に対する期待度が大であるため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の経費であり、削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の経費であり、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 補助対象者が条例により定められており、公平である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	人口の増加と定住化を図り、過疎化の進行を防止することを目的として本事業が開始されたが、社会情勢の変化・市民ニーズ等の変化に伴い年々、人口減少の歯止めがきかない状況である。 又、昨年度同様に若者世代の定住化を図ることができないため、事業実績はない状況となった。 今後、過疎地域自立促進計画の見直しを行う中、結婚関連支援事業について検討する必要がある。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① 地域住民、行政、第三者機関等の意見を聞く中、人口の増加と定住化について検討して行く。 ② 更なる広報誌等を活用し、若者世代の定住化をPRする。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
① 人口の減少の対応策の検討。 ② 芦安地区の定住化を図るための地域活性化事業等の導入。 ③ 過疎地域自立促進計画の見直しによる課題解決。	成果優先度評価結果  コスト削減優先度評価結果																					